コーディング手法

－ コンパイルの効率化と処理把握のための厳密なコーディング －

2014年1月20日 初版

板垣 衛

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版 | リリース | 担当 | 改訂内容 |
| 初版 | 2014年1月20日 | 板垣 衛 | （初版） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

目次

[ 概略 1](#_Toc377443254)

[ 目的 1](#_Toc377443255)

[ 要件定義 1](#_Toc377443256)

[▼ 基本要件 1](#_Toc377443257)

[▼ 要求仕様／要件定義 1](#_Toc377443258)

[ 仕様の依存関係 1](#_Toc377443259)

[ データ仕様 2](#_Toc377443260)

[ 処理仕様 2](#_Toc377443261)

# 概略

本書は、。

（メモ）

・プログラムティップス:フェード計算方法、virtualを極力使わない、避けた方がよい標準ライブラリ…乱数やstl、string、メモリをコントロールできないものは使用を避ける、stlに変わって内製のコンテナライブラリを使用する、Stlもアルゴリズムのようなメモリ確保を行わないようなものは使っていい、そのためにも関数オブジェクトなどは活用する、simd演算を意識する、templateの定義方法とインスタンス化方法、インクルードは常に必要最低限に、専用プリコンパイラで効率化、他

・コードの書き方ルール

# 目的

本書は、を目的とする。

# 要件定義

## 基本要件

を規定する。

## 要求仕様／要件定義

する。

* する。

# 仕様の依存関係



本書の仕様は、である。

# データ仕様

あ

# 処理仕様

あ

■■以上■■

索引

**索引項目が見つかりません。**

コーディング手法

以　上